

## 患者由来オルガノイドを用いた子宮体癌における治療抵抗性の分子基盤解明

### 1. 研究の対象

主に対象となる患者さん：当院で2020年2月以降に「手術・検査の余剰検体およびそれに付随する診療情報等の収集 Cancer Cell Port がん細胞バンクの構築」に同意された患者さんのうち、子宮体癌と診断された患者さん

**2. 研究目的・方法** 本研究は、過去に当院で手術を受けられ、「手術や検査で得られた余剰検体および診療情報を研究に使用すること」について同意をいただいた患者さんの検体および診療情報を用いて行います。新たに検体を採取したり、追加の検査を行ったりすることはありません。本研究の目的は、子宮体癌において治療が効きにくくなる仕組みを分子レベルで明らかにし、患者さん一人ひとりに適した治療法の開発につなげることです。そのために、手術で摘出した腫瘍組織から作製したオルガノイド(患者さんのがんの性質を保った培養モデル)を用いて薬剤の効果を調べるとともに、RNA解析や全エクソーム解析などの網羅的遺伝子解析を行い、薬剤の効き方と腫瘍の分子学的特徴との関連を解析します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、病理組織結果、生存や再発の有無、カルテ番号 等

組織検体：「手術・検査の余剰検体およびそれに付随する診療情報等の収集 Cancer Cell Port がん細胞バンクの構築」に同意された子宮肉腫の患者さんの凍結検体

利用又は提供を開始する予定日：所属機関の長の研究実施許可日～2030年3月31日

### 4. 研究組織

大阪国際がんセンター婦人科 北井 美穂

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター婦人科

研究責任者：北井美穂

大阪市中央区大手前3丁目1番69号

06-6945-1181